

2021年3月期
決算説明資料

2020年8月24日

東証1部: 6333



株式会社 帝国電機製作所

1. 2021年3月期第1四半期決算
2. 2021年3月期業績見通し
3. 当社製品の用途
4. 環境経営への取組み
5. 参考資料



世界中の様々な場所で活躍している
テイコクキャンドモータポンプ

私たちはキャンドモータポンプの
リーディングカンパニーです

2021年3月期第1四半期決算



株式会社 帝国電機製作所

2021年3月期第1四半期決算概要



株式会社 帝国電機製作所

- 主力のポンプ事業は、2019年後半は海外大型案件が一服していたことに加え、年明け以降の新型コロナウイルスによる生産・販売活動の制限等により減少
- 電子部品事業は、新型コロナウイルスの影響による自動車業界の需要急減により売上が減少

(百万円)	2020年3月期 第1四半期	構成比 (%)	2021年3月期 第1四半期	構成比 (%)	増減	増減率 (%)
売上高	5,466	100	4,596	100	▲870	▲15.9
売上原価	3,137	57.4	2,891	62.9	▲245	▲7.8
売上総利益	2,329	42.6	1,704	37.1	▲624	▲26.8
販売費及び一般管理費	1,526	27.9	1,392	30.3	▲134	▲8.8
営業利益	802	14.7	312	6.8	▲489	▲61.0
経常利益	796	14.6	328	7.1	▲468	▲58.8
親会社株主に帰属 する四半期純利益	499	9.1	164	3.6	▲335	▲67.1

新型コロナウイルスの影響等により減収減益

売上高

売上高減少の主な要因

- ・2019年後半は海外大型案件が一服
- ・新型コロナウイルスによる1～2月の中国の移動制限の影響で中国子会社の製品出荷が停滞、インドにおいても4月～6月の移動制限により生産・販売活動に制限
- ・電子部品事業は、新型コロナウイルスの影響による自動車業界の需要急減により売上が減少

営業利益

営業利益減少の主な要因

- ・ポンプ事業、電子部品事業の売上減少
- ・ポンプ事業における中国市場の競争環境悪化

親会社株主に帰属する 当期純利益

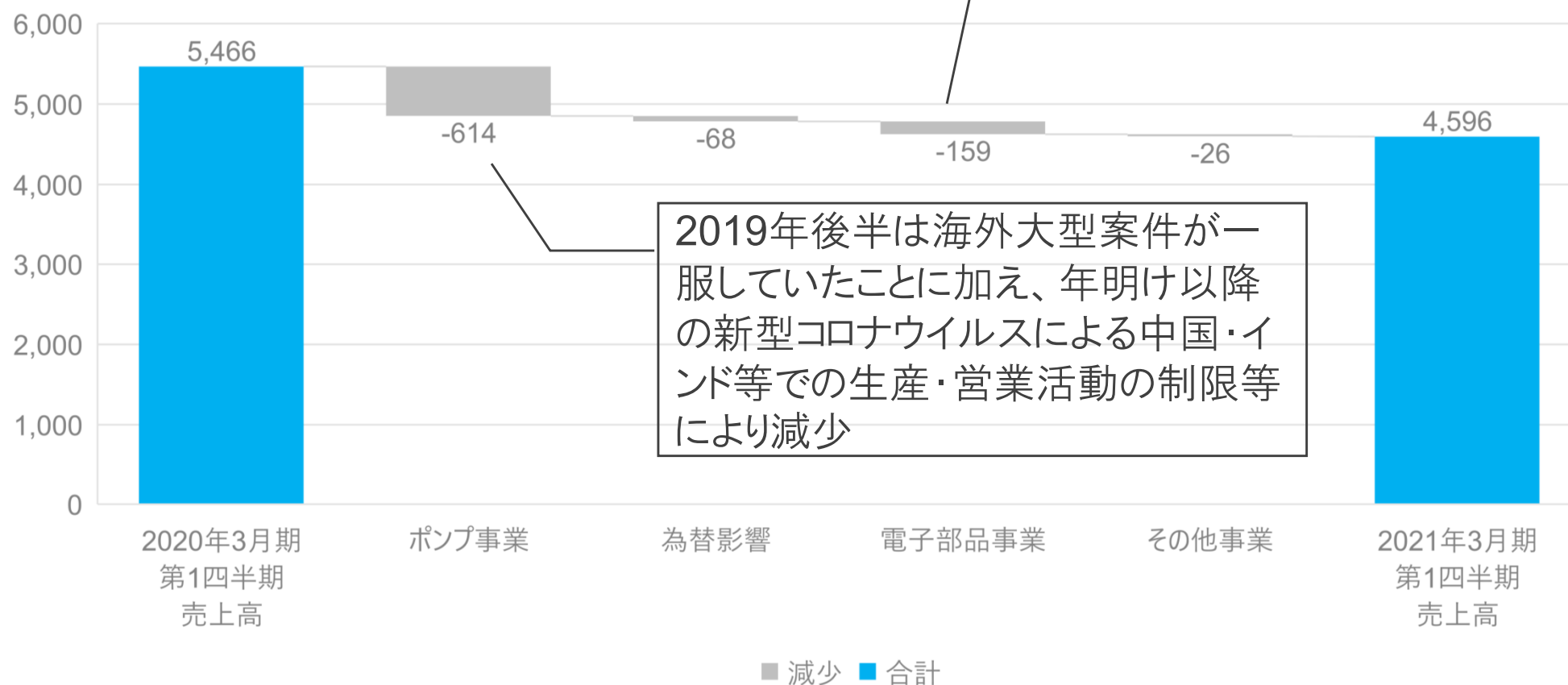
前期比▲67.1%減少

売上高増減分析



株式会社 帝国電機製作所

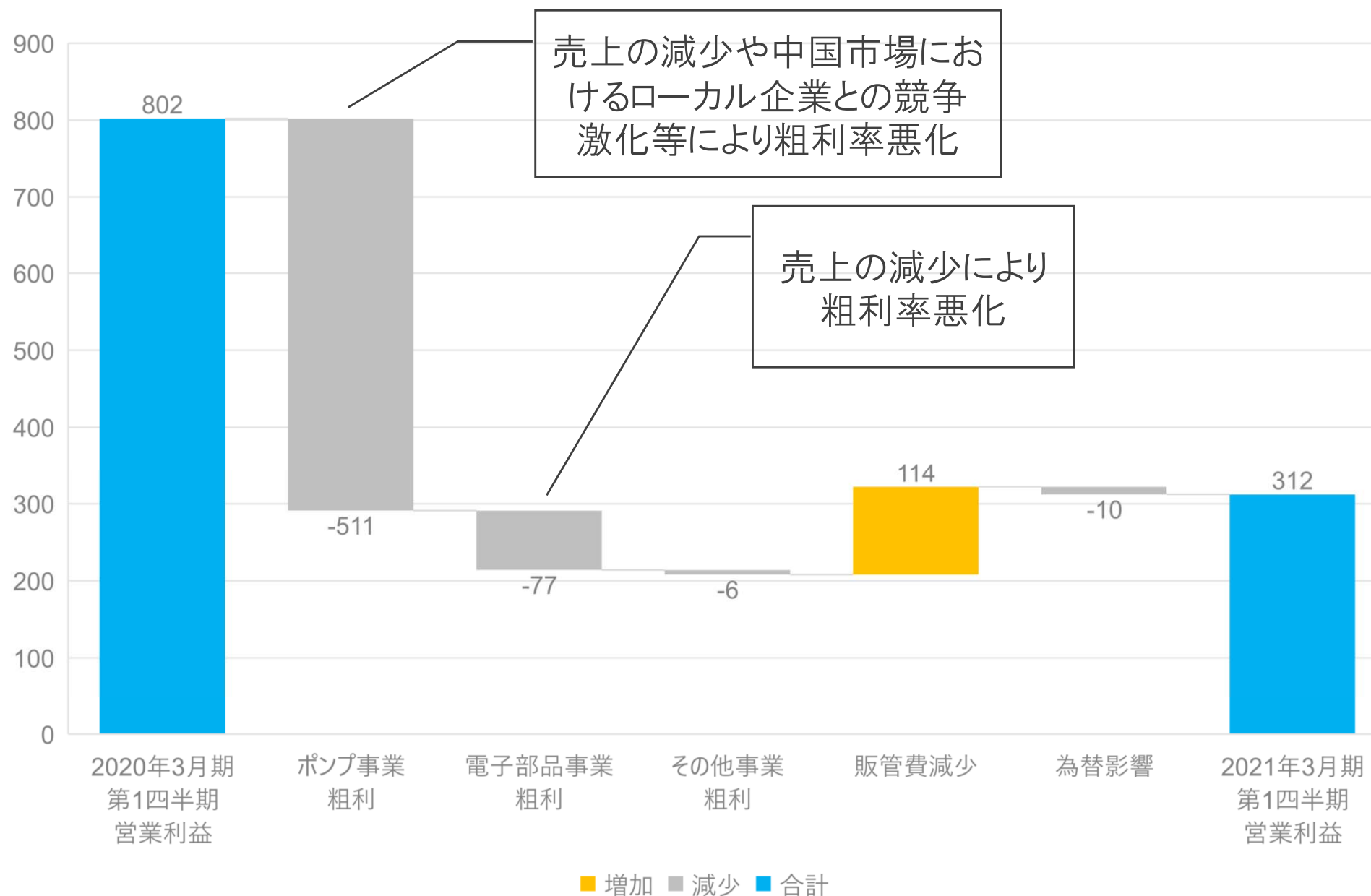
期中平均レート推移	2020年3月期第1四半期	2021年3月期第1四半期
USドル	110.23円	108.87円
人民元	16.33円	15.59円
ユーロ	125.17円	120.10円



営業利益増減分析



株式会社 帝国電機製作所



種別別セグメント(売上高・営業利益)



株式会社 帝国電機製作所

● 新型コロナウイルス等の影響によりポンプ事業、電子部品事業とも減収減益

(百万円)		2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減	増減率
ポンプ事業	売上高	4,913	4,230	▲683	▲13.9%
	営業利益 (営業利益率)	838 (17.1%)	428 (10.1%)	▲409	▲48.9% (▲7.0%)
電子部品事業	売上高	428	268	▲159	▲37.3%
	営業利益 (営業利益率)	▲56 (—%)	▲131 (—%)	▲75	— (—)
その他	売上高	124	98	▲26	▲21.4%
	営業利益 (営業利益率)	19 (15.6%)	15 (15.4%)	▲4	▲22.1% (▲0.2%)
合計	売上高	5,466	4,596	▲870	▲15.9
	営業利益 (営業利益率)	802 (14.7%)	312 (6.8%)	▲489	▲61.0% (▲7.9%)

ポンプ事業 所在地別売上高



株式会社 帝国電機製作所

- 日本・・・国内は老朽化更新や設備改造等が堅調
- 欧米・・・ケミカル向け等が減少したものの原子力向けが増加し横ばい
- アジア・・・新型コロナウイルスによる主に中国・インドの移動制限の影響等により減収

(百万円)		2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減	増減率
日本	売上高	1,657	1,771	+114	+6.9%
欧米	売上高	1,191	1,213	+22	+1.9%
アジア	売上高	2,064	1,245	▲819	▲39.7%
合計		4,913	4,230	▲683	▲13.9%

※販売元が基準（外部顧客に対する売上でセグメント間を除く）

●主に海外でのケミカル機器用や電力用(車両用)、メンテナンスが減少

(百万円)	2020年3月期 第1四半期	比率 (%)	2021年3月期 第1四半期	比率 (%)	増減	増減率 (%)
ケミカル機器用	2,582	52.6	2,143	50.7	▲438	▲17.0
冷凍機・空調機器用	428	8.7	404	9.6	▲23	▲5.6
電力用(車両用)	215	4.4	113	2.7	▲102	▲47.4
電力用(地上用)	99	2.0	131	3.1	+32	+33.1
定量注入機器	74	1.5	134	3.2	+59	+79.4
その他ポンプ	22	0.5	56	1.3	+34	+153.8
メンテナンス	1,490	30.3	1,245	29.4	▲245	▲16.4
合計	4,913	100.0	4,230	100.0	▲683	▲13.9

種類別受注高・受注残高



株式会社 帝国電機製作所

・ポンプ受注は新型コロナウイルスによる営業活動の制限等により減少

(百万円)	2020年3月期 第1四半期		2021年3月期 第1四半期		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ポンプ事業	5,560	10,234	4,683	8,755	▲876	▲1,479
電子部品事業	425	146	273	115	▲152	▲30
その他	139	121	112	102	▲27	▲19
合計	6,125	10,502	5,068	8,973	▲1,057	▲1,529

要約貸借対照表



株式会社 帝国電機製作所

(百万円)

資産の部	2021年3月期 第1四半期	前期末増減
流動資産	22,842	▲889
現預金	9,965	▲549
受取手形・売掛金	7,784	▲559
製品・仕掛品 原材料・貯蔵品	5,100	+202
固定資産	10,889	▲156
有形固定資産	8,561	▲145
無形固定資産	521	▲42
投資その他の資産	1,807	+31
資産合計	33,732	▲1,045

負債の部	2021年3月期 第1四半期	前期末増減
流動負債	6,159	▲666
支払手形・ 買掛金	1,993	▲137
短期借入金	390	▲61
未払法人税等	792	▲151
その他	2,982	▲315
固定負債	862	▲38
純資産	26,710	▲340
(内自己株式)	(▲927)	(0)
負債・純資産合計	33,732	▲1,045



世界中の様々な場所で活躍している
テイコクキャンドモータポンプ —————
私たちはキャンドモータポンプの
リーディングカンパニーです

2021年3月期業績見通し



株式会社 帝国電機製作所

TEIKOKU

業績見通しの前提条件



株式会社 帝国電機製作所

セグメント別	
ポンプ事業	・生産工程のボトルネックの影響を要因とする前期初に高止まりした受注残高の反動減（期初ポンプ事業受注残高前期比▲1,285百万円） ・2019年後半は海外大型案件が一服していたことに加え、新型コロナウイルスの影響による海外プロジェクト案件の延期・見直しの動きや生産・販売活動の制限等もあり減収減益見込み ・下期以降の回復を見込むが本格回復には時間を要する見込み
電子部品事業	・新型コロナウイルスの影響による自動車需要減少等により減収減益見込み ・下期以降に自動車需要の回復を見込むが、本格回復には時間を要する見込み
計画為替レート	1US \$ =107.0円、1€=120.0円、1元=15.5円、1KRW=0.09円、1INR=1.4円 （前期実績レート：・ 1US \$ =109.0円、1€=122.0円、1元=15.8円、1KRW=0.09円、1INR=1.5円）
地域別	
日本	・ポンプ事業は、国内は横ばい見込みだが輸出案件の減少等により減収見込み ・電子部品事業も減収見込み
欧米	・新型コロナウイルスによる営業活動の制限やプロジェクト案件の延期・見直し等により減収見込み
アジア	・新型コロナウイルスによる営業活動の制限やプロジェクト案件の延期・見直し等により減収見込み ・中国市場におけるローカル企業との競争激化に加え、前期は中国修理子会社1社の清算に伴う税金取崩しによる利益押上げがあったため、今期は利益率減少見込み

今期計画(業績見通し)



株式会社 帝国電機製作所

- 売上は、主にポンプ事業において、前期初に高止まりしていた受注残高の反動減の影響及び2019年後半は海外大型案件が一服していたことに加え海外プロジェクト案件の延期・見直しの動きや生産・販売活動の制限等もあり減収減益見込み
- 利益は、売上の減少やポンプ事業における中国市場での競争激化、前期利益を押し上げた特殊要因(※)の剥落等により減益見込み

(百万円)	2020年3月期 (実績)	構成比 (%)	2021年3月期 (計画)	構成比 (%)	増減	前期比 (%)
売上高	23,576	100	18,400	100	▲5,176	▲22.0
売上原価	14,138	60.0	11,610	63.1	▲2,528	▲17.9
売上総利益	9,437	40.0	6,790	36.9	▲2,647	▲28.1
販売費及び一般管理費	5,686	24.1	5,710	31.0	+24	+0.4
営業利益	3,750	15.9	1,080	5.9	▲2,670	▲71.2
経常利益	3,829	16.2	1,240	6.7	▲2,589	▲67.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,155	13.4	730	4.0	▲2,425	▲76.9

※ 前期特殊要因：前期は、中国子会社の修理子会社1社清算により、過年度に計上した未払税金の取崩しが発生し利益を押し上げた。
(販管費に285百万円戻入、法人税等に459百万円戻入)

種類別セグメント見通し(売上高・営業利益)



株式会社 帝国電機製作所

(百万円)		2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (予想)	増減	増減率
ポンプ事業	売上高	21,061	16,545	▲4,516	▲21.4%
	営業利益 (営業利益率)	3,542 (16.8%)	1,223 (7.4%)	▲2,319	▲65.5% (▲9.4%)
電子部品事業	売上高	1,965	1,490	▲475	▲24.2%
	営業利益 (営業利益率)	106 (5.4%)	▲195 (—)	▲301	— (—)
その他	売上高	548	368	▲180	▲32.8%
	営業利益 (営業利益率)	101 (18.5%)	52 (14.1%)	▲49	▲48.5% (▲4.4%)
合計	売上高	23,576	18,400	▲5,176	▲22.0%
	営業利益 (営業利益率)	3,750 (15.9%)	1,080 (5.9%)	▲2,670	▲71.2% (▲10.0%)

ポンプ事業 所在地別売上高見通し



株式会社 帝国電機製作所

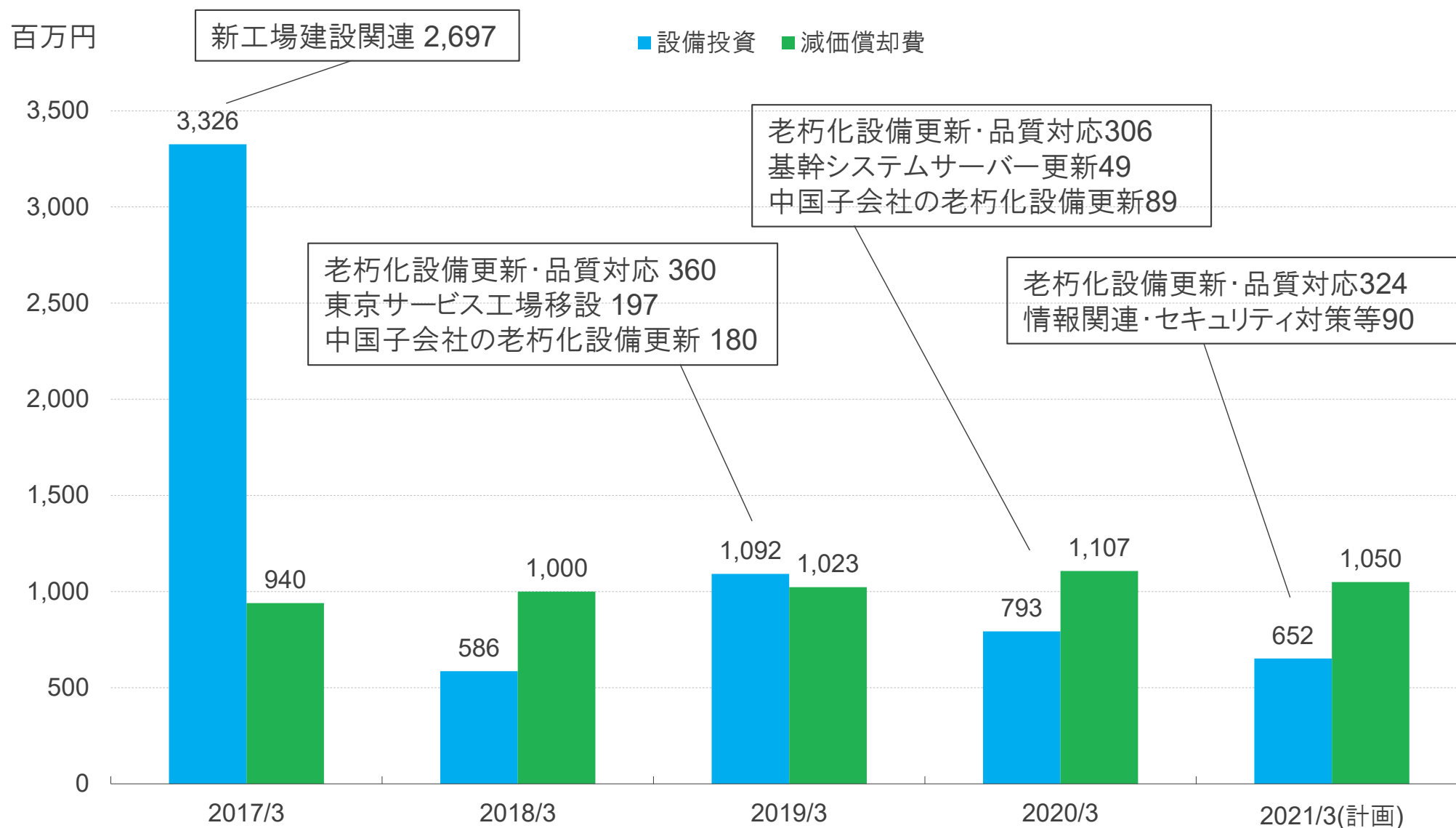
(百万円)		2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (予想)	増減	増減率
日本	売上高	7,506	6,252	▲1,254	▲16.7%
欧米	売上高	5,139	4,559	▲580	▲11.3%
アジア	売上高	8,415	5,732	▲2,683	▲31.9%
合計	売上高	21,061	16,545	▲4,516	▲21.4%

※販売元が基準（外部顧客に対する売上でセグメント間は除く）

設備投資・減価償却費計画



株式会社 帝国電機製作所



基本方針

株主に対する利益還元は経営の重要課題のひとつ。
拡大する事業機会を迅速・確実に捉える為に必要となる株主資本の水準を保持。

配当 安定配当に留意しつつ、連結配当性向30%以上を目標

自己株式取得 市場環境や資本効率等を勘案し、必要に応じて検討

・当期は新型コロナウイルスの影響で大幅減益となるが、安定配当による利益還元を優先し、年間配当額は据え置き予定

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 (予定)
年間配当金	24円	36円	36円
配当性向(連結)	46.7%	※22.5%	97.1%

※ 2019年12月に総額117百万円の自己株式取得、総還元性向26.2%

2021年3月期決算への影響

- ・ 下期回復を見込むが本格回復には時間を要する見込み（新型コロナウイルスの第二波、第三波等は考慮していない）

現在の状況（☆は工場のある国・地域）

国名	足許の状況	生産・営業活動
☆日本	・ 特に移動制限等はなく客先のプラントも稼働している ・ 一部で客先訪問の制限あり	・ 工場は通常稼働、営業や技術部門等の一部が交替でテレワークを継続 ・ 受注状況は更新需要等は堅調だが海外新規プロジェクト案件は減少
☆米国	・ 感染拡大が止まらず、営業活動や調達にも影響	・ 工場は通常どおり稼働中、営業・管理部門は交替でテレワークを継続 ・ ロックダウン前の駆け込み需要等あったが、足許は営業活動の制限やプロジェクトの延期・見直しの動きもあり弱含み
☆中国	・ 移動制限等はないが、7月以降も遼寧省に新規感染者が発生していることから移動の自粛が呼びかけられている	・ 工場は通常稼働、営業も通常営業 ・ 足許の受注は回復傾向にあるが本格的な回復にはもう少し時間を要する見込み
☆インド	・ 現地法人が所在するマハーラーシュトラ州（ムンバイ）は、ロックダウン措置を8/31まで再延長	・ 当局から5月中旬に工場操業再開の許可があり、出社人数を制限して部分的に操業している状況が継続 ・ 客先は人数を絞って部分的に操業している状況、引き合いは減少している

現在の状況（☆は工場のある国・地域）

国名	足許の状況	生産・営業活動
韓国	・新規感染者は減少しており、移動制限等もない状況	・通常営業だが、顧客が来訪を制限しているケースもある ・半導体関連など一部のプロジェクトが延期になるなどの影響あり
シンガポール	・6/1にロックダウン解除	・7月からオフィスワークと在宅ワークを半数ずつ交代で実施
ドイツ	・ドイツでは5/11以降段階的にロックダウンが解除され現在は移動制限等はない ・EU域内の往来も6/15に解除された	・通常営業だが、客先への訪問は要求があった場合に限っている



世界中の様々な場所で活躍している
テイコクキャンドモータポンプ

私たちはキャンドモータポンプの
リーディングカンパニーです

当社製品の用途



株式会社 帝国電機製作所

TEIKOKU

特集

くらしの中のティコク

当社の製品は、設備や装置の動力部分に使われているため、一般に目に触れる機会はありません。しかし、何気なく利用しているビルや交通機関、また、工場、発電所などにも、当社製品は幅広く活躍しており、快適で便利な暮らしや社会をしっかりと支えています。



★ 新幹線

変圧器冷却用の油を循環させるために「電動油ポンプ」が使われています。

★ 工場

石油化学、ファインケミカル、医薬・食品など多様な分野の工場で「キャンドモータポンプ」、「定量ポンプ」、「かくはん機」が使われています。



⊕ 倉庫

工場や倉庫の天井クレーンなどに「ブレーキモータ」が使われています。

⊕ 大型放射光施設

大型放射光施設 (SPring-8) の加速器施設に「電磁石」が使われています。



★ ビル・大型施設

吸収式冷暖房機の冷媒液、吸収液の循環に「吸収式冷暖房機用キャンドモータポンプ」が使われています。



★ 変電所

変圧器冷却用の油を循環させるために「電動油ポンプ」が使われています。



★ 発電所

原子力発電所や火力発電所にも当社の「キャンドモータポンプ」が使われています。



◇ 自動車

「ETCコントロールユニット」や「キーレスコントロールユニット」など、快適なカーライフを支える便利な機能にもティコクの技術が活かされています。



★ オートガススタンド

タクシーなどの燃料として使われるLPGのスタンドにも当社のポンプが活躍しています。



★ ポンプ事業 ◆ 電子部品事業 ⊕ その他



世界中の様々な場所で活躍している
テイコクキャンドモータポンプ

私たちはキャンドモータポンプの
リーディングカンパニーです

環境経営への取組み



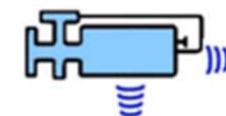
株式会社 帝国電機製作所

TEIKOKU

主力製品であるキャンدمータポンプ



- ・完全無漏洩であることから、環境負荷が小さい
- ・運転音が静かであるため、騒音を低減できる



環境に優しい製品の製造・販売で
地球環境悪化防止に貢献

②当社ポンプの環境貢献例



株式会社 帝国電機製作所





世界中の様々な場所で活躍している
テイコクキャンドモータポンプ

私たちはキャンドモータポンプの
リーディングカンパニーです

参考資料



株式会社 帝国電機製作所

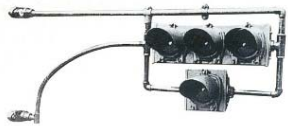
当社概要と沿革



株式会社 帝国電機製作所

当社は完全無漏洩構造のキャンドモータポンプを主力事業として、約半世紀にわたって事業を展開しています。

世界各地の石油化学プラント、ファインケミカル、医薬・食品業界、原子力発電所、変電所等様々な分野で活躍し、数多くの実績と信頼を築いています。



1939年
帝国電機製作所
設立

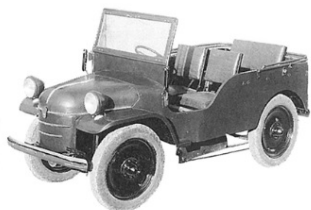
1958年
A型モータ
を試作

1991年
初の海外拠
点となる
TEIKOKU
USA INC.
を設立

2003年
TEIKOKU USA
INC.が米国クレ
イン社のケミポン
プ事業部を買収

2017年
本社工場
リニューアル

1947年
ティコク製電気
自動車を開発



1960年
キャンドモータ
ポンプの開発
に成功



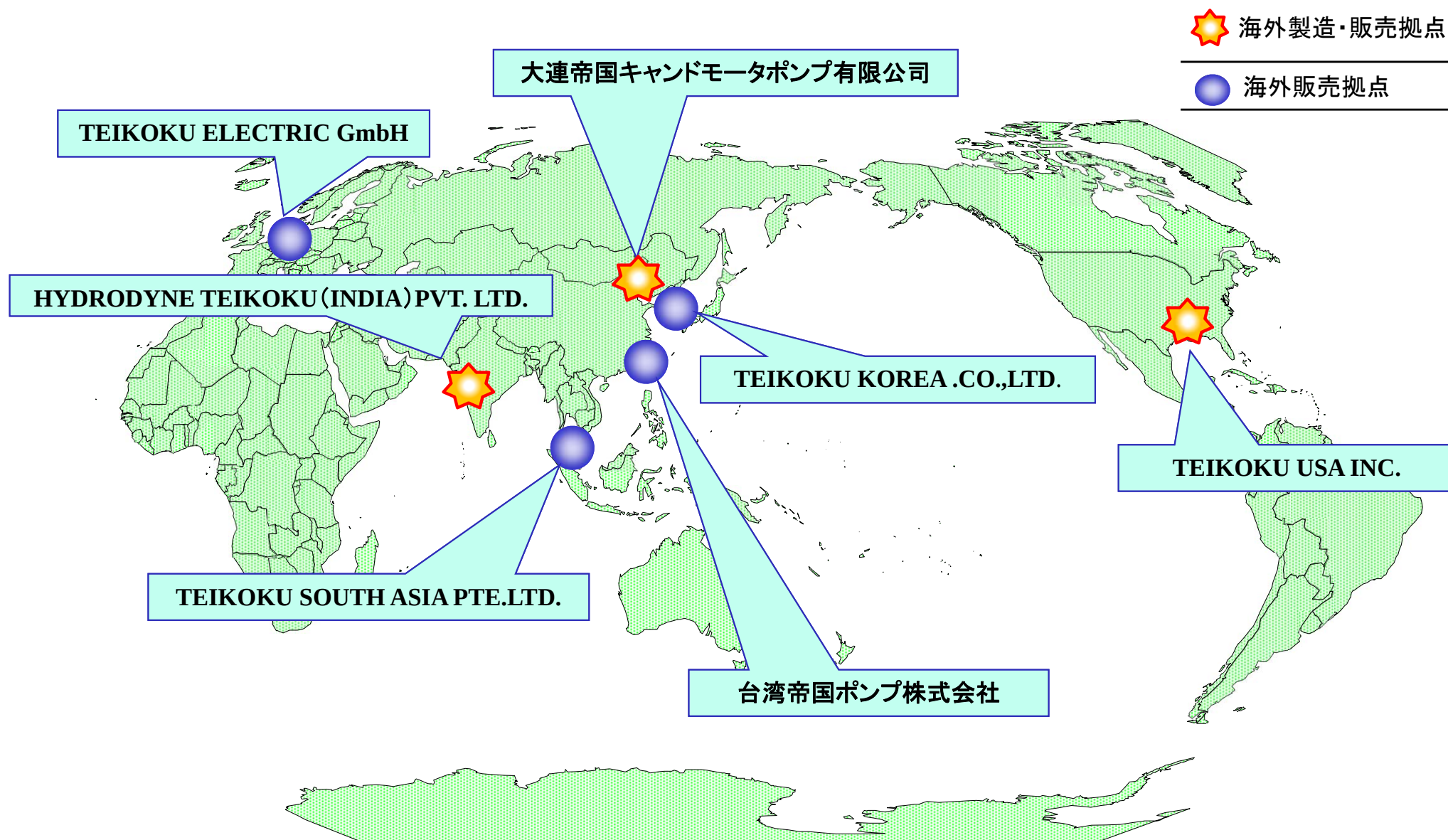
1994年
中国に大連帝国
キャンドモータ
ポンプ有限公司
を設立

2006年
東京証券
取引所市
場第一部
に上場

2017年
インドのHYDRODYNE
(INDIA)PVT. LTD. を子会社
化(現・HYDRODYNE
TEIKOKU(INDIA)PVT.LTD.)

- みんなで良くなろう
- 誠実に事に当たろう
- 積極的にやろう

当社の海外展開

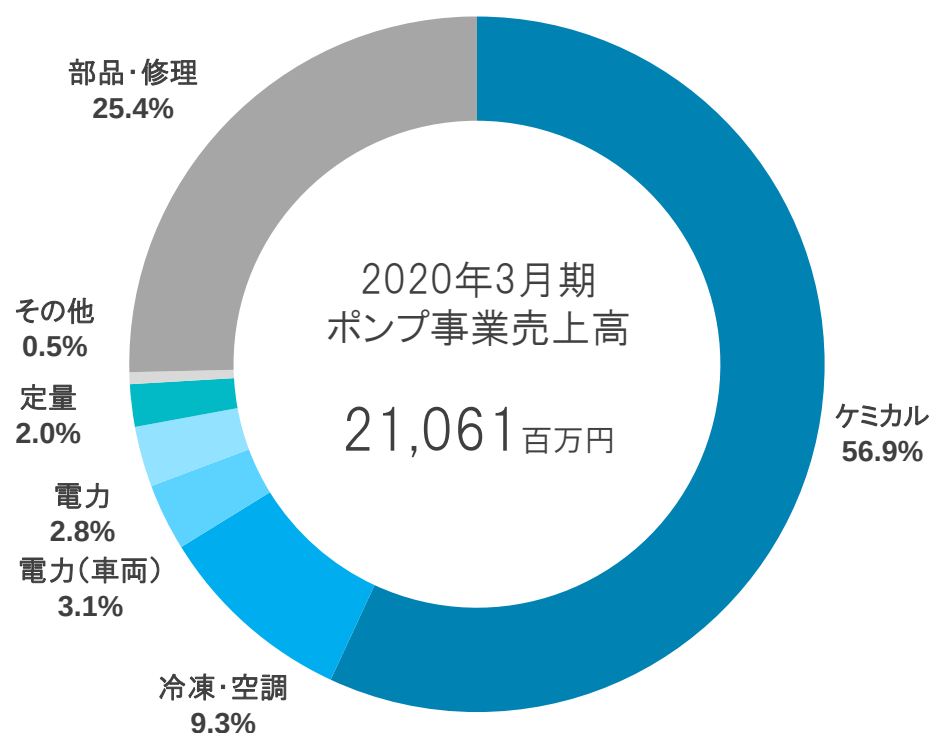


当社の売上構成



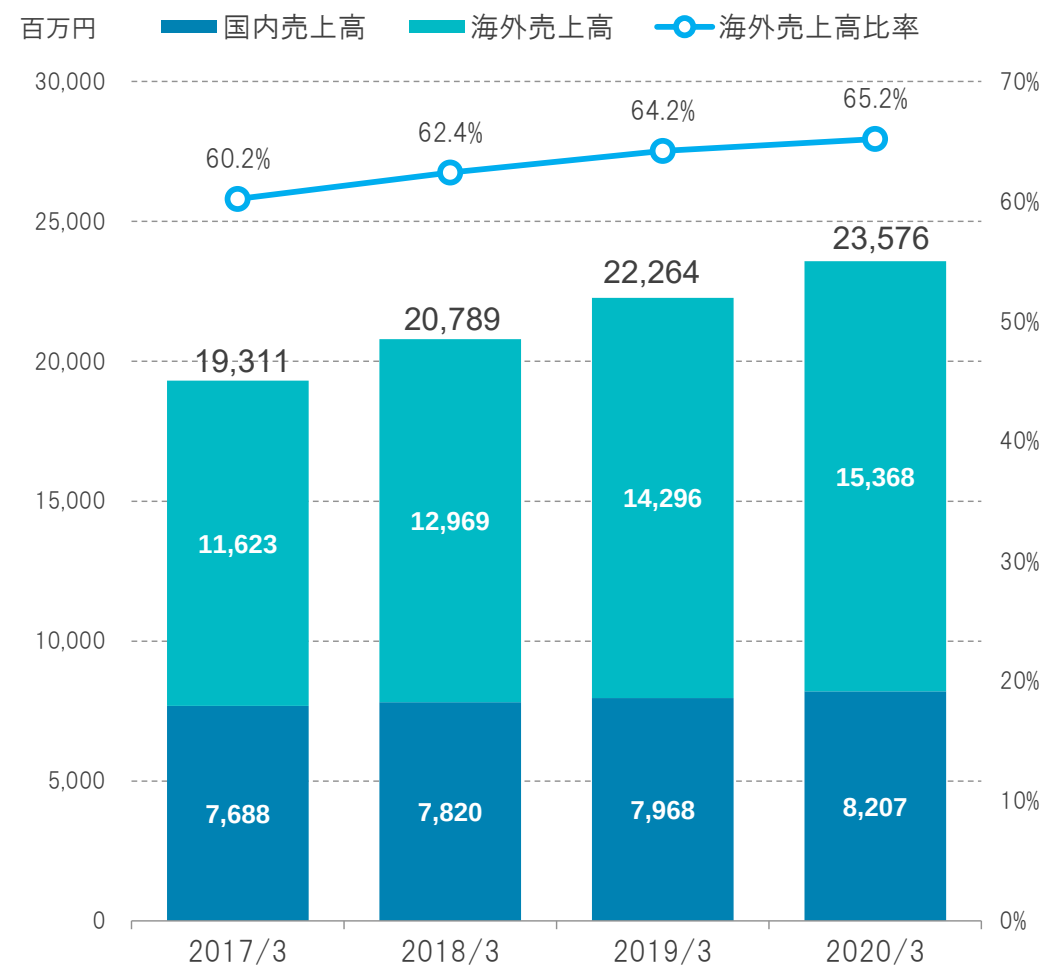
株式会社 帝国電機製作所

ポンプ用途別売上比率



● 売上高の約90%は、「キャンドモータポンプ」を主軸とする「ポンプ事業」

国内外売上高比率の推移



過去業績の推移



株式会社 帝国電機製作所

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高 (百万円)	20,748	19,311	20,789	22,264	23,576
営業利益 (百万円)	2,168	1,666	2,300	2,025	3,750
営業利益率(%)	10.5	8.6	11.1	9.1	15.9
ROE(%)	5.9	4.9	6.1	4.1	12.2
ROA(%)	6.5	5.4	7.1	6.6	11.1
配当性向(%)	21.1	26.4	26.8	46.7	22.5
受注高 (百万円)	21,759	18,146	21,723	24,893	22,234
受注残高 (百万円)	7,504	6,339	7,273	9,843	8,501

キャンドモータポンプの特徴



株式会社 帝国電機製作所

一般的なポンプとキャンドモータポンプの違い

一般的なポンプはポンプとモータを別々に製造し、それをカップリングして使用するため、回転軸を通したケーシングの隙間から、取り扱い液が外部へ漏れてしまいます。

しかし当社のキャンドモータポンプは、ポンプとモータを一体化し、取り扱い液が密閉される構造であるため、完全無漏洩であることが特徴です。

キャンドモータポンプの優れた特徴

1 完全無漏洩



取り扱い液が外部に漏れるおそれがないので、人体に有害な液、爆発や引火しやすい液、高価な液、腐食性のある液などの取り扱いに適しています。

2 外気との接触なし



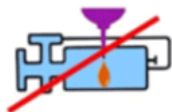
外気を吸い込まないので、真空系での運転、外気に触れると変質する液などの取り扱いに適しています。

3 幅広い圧力・温度に対応



軸シールがないので、系の圧力が高い、高温液、低温液、高融点液などを取り扱うポンプの製作が容易です。

4 潤滑油いらす



潤滑油を必要としないので、取り扱い液の汚染がなく、給油の手間が不要です。

5 小型軽量で省スペース



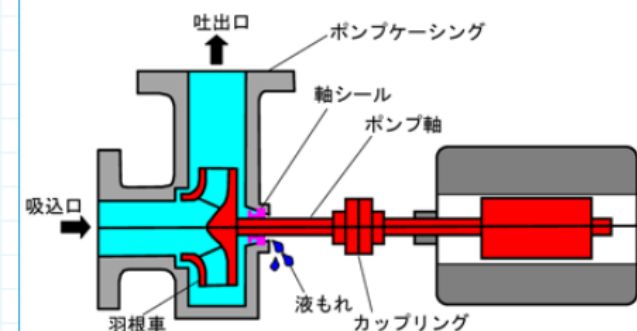
モータ軸がポンプ軸を兼ねているので、小型軽量で設置場所をとらない、分解点検が容易です。

6 静かな運転音



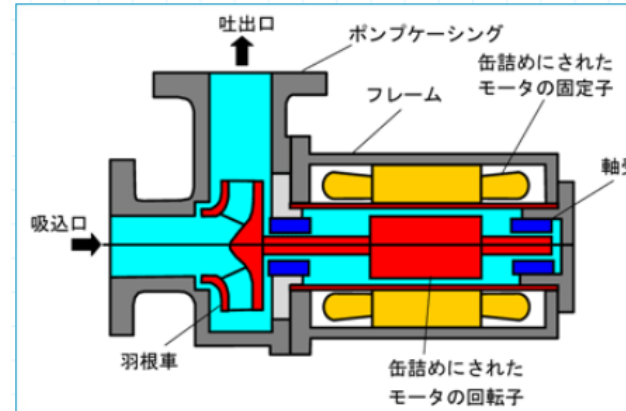
モータを冷却するファンがないので運転音が静かです。

一般的なポンプ



軸シール部から漏洩してしまいます。

キャンドモータポンプ

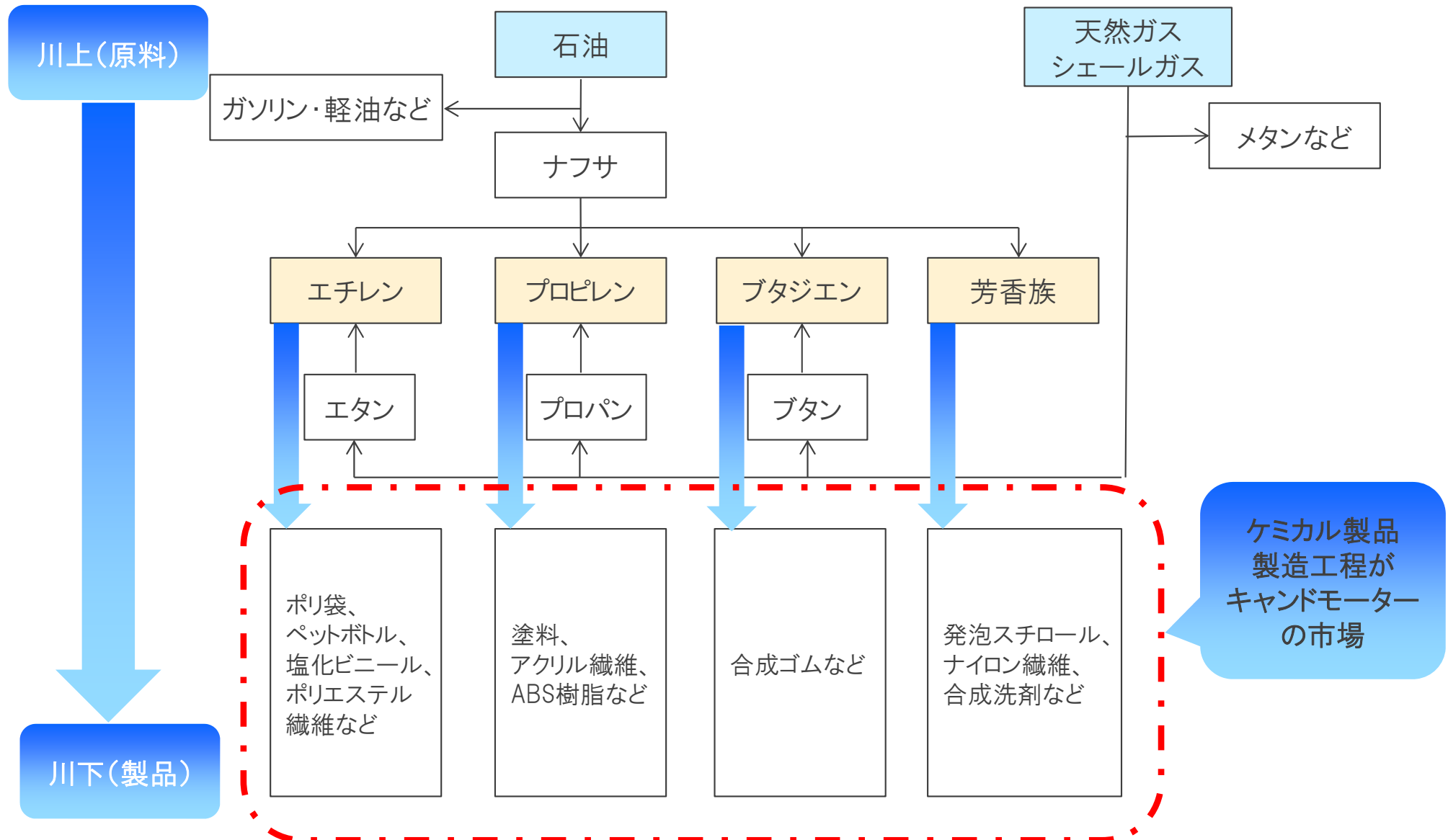


ポンプとモータを一体化し、密閉された構造であるため漏洩しません。

化学製品の製造工程とターゲット市場



株式会社 帝国電機製作所

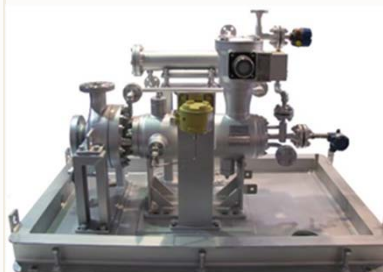


キャンドモータ ポンプ

完全無漏洩という特徴を活かし、石油化学プラント等様々な分野で活躍しています。



国際規格API685に準拠したキャンドモータポンプ。高温・高圧に対する耐久性にも優れています。



大型冷凍機・空調機の冷媒の移送においても、当社のキャンドモータポンプが採用されています。



電動油ポンプ

変圧器冷却用に使用されています。変電施設の他、すべてのJR新幹線に搭載されています。



定量ポンプ

一定量の液体を正確に移送可能なポンプ。用途範囲が広く、薬品業界等で活躍しています。



かくはん機

各種槽内の液体を効率よく攪拌でき、石油化学業界のほか、食品業界等でも活躍しています。



本資料は当社をご理解いただくために作成されたものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれないうようお願いいたします。